

■ 健民センターで野外ライブを開催

7月28日、国内外で活躍しているミュージシャンによる野外ライブ「MUSIC HARVEST(ミュージックハーベスト) 2013」が健民センター多目的広場で開催されました。「時代は変わる」をテーマにした

ライブには、芦別でもなじみの深いロック、ジャズ、フォークグループなど7組が出演。昼から夜まで約8時間にわたって次々と登場し、市内外から集まった多くの音楽ファンを楽しませました。



■ 少年・少女が元プロ選手から野球を学ぶ

7月31日から8月2日まで、日本プロ野球OBクラブベースボールサマーキャンプが芦別市民球場で開催されました。これは、星槎グループの協力のもと、公益社団法人全国野球振興会と芦別市の主催によるもの

で、昨年に続いて2回目。今年は芦別市内のほか、札幌市や岩見沢市などから男女106人の小学生が参加。元広島カープの高橋慶彦さんら4人の元プロ野球選手から基本技術を学びました。

■ 福島の子どもたちが芦別の夏を満喫

福島県相馬市の子どもたち17人が、7月28日から8月5日まで芦別市を訪れました。これは、「北の大地に会いに行こう」と銘打った星槎グループと芦別市共催による東日本大震災・避難者受け入れ支援事業で、昨年夏と冬に続いて3回目。

滞在中の子どもたちは、市内見学やサクランボ狩り、農業体験などを行ったほか、8月1日には市内の小学生と交流=写真上。また、3日に開催されたキャンドルアートにも参加するなど楽しいひとときを過ごしました=写真下。



■ 9,600人が最後のキャンドルアートを楽しむ

今年で20回目の記念開催となったキャンドルアートには、天候にも恵まれたことから、これまでで最高の9,600人が訪れました。

ステージで繰り広げられる歌やダンスなどさまざまなイベントを楽し

んだほか、7,000本のたいまつロウソクに子どもたちが点火して描かれた巨大なアートと花火、レーザー光線の競演には、観客から大歓声が上がりました。「本当にこれで最後のの？」と、惜しむ声も聞かれました。



■ 「木質チップ製造事業に期待」と総務省課長が講演



総務省地域力創造グループの猿渡知之地域政策課長が8月19日、本市を訪れ、同省が進めているプロジェクト「地域の元気創造プラン」について講演しました。このプランに沿って全国で各種行われている事業の中で、現在市内で進められ

ている木質チップ製造事業は先行モデルとして位置付けられており、猿渡課長は「間伐材を利用したこの事業は、雇用創出など大いに期待がもてる」などと話し、会場のスターライトホテルに詰め掛けた約160人は熱心に耳を傾けていました。